神戸新聞 2018年12月19日 水曜日 面名 神戸 １５ 25ページ

追悼行事「1・17のつどい」

竹灯籠の文字考えよう

広陵小 震災の教訓学ぶ授業

1月17日の追悼行事で、竹灯籠で表す文字を考えた6年生たち＝広陵小学校

北区

東遊園地（中央区加納町6）で毎年1月17日に開かれる追悼行事「1・17のつどい」で、竹灯籠で表す文字を考える授業が18日、広陵小学校（北区筑紫が丘2）で開かれた。NPO法人「阪神淡路大震災1・17希望の灯り」の代表理事、藤本真一さん(34)が講師を務め、同小6年生約110人が文字を考えた。

追悼行事の実行委員会が2016年から公募する。文字数は4文字までで、1月9日まで公募している。

藤本さんは震災の被害を説明し、「何を教訓とするのか。災害に巻き込まれた際の生き延びる方法を考えて」と児童に呼び掛けた。

児童たちは3人一組になって、ふさわしい文字を相談。震災のつらさや体験を忘れない「残す」や、人と人の気持ちをつなげて発信する「結ぶ」、今の人に震災時の思いを伝える「届ける」などを考えた。候補に挙がった文字は実行委員会に応募する。

「守る」という文字を考えた本田海人君(12)は「震災で生まれた悲しい思いを後世に伝え、命や家族を守る気持ちを持ち続けたい」と話した。（村上晃宏）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 東遊園地で毎年1月 17日に開かれる追悼行事は何ですか？

（　　）

② 追悼行事の実行委員会が2016年から公募しているものは何ですか？

（　　）

③ 竹灯籠で作る文字をあなたも考えましょう。

（　　）